

今後の感染拡大に備えた保健所体制の整備等について

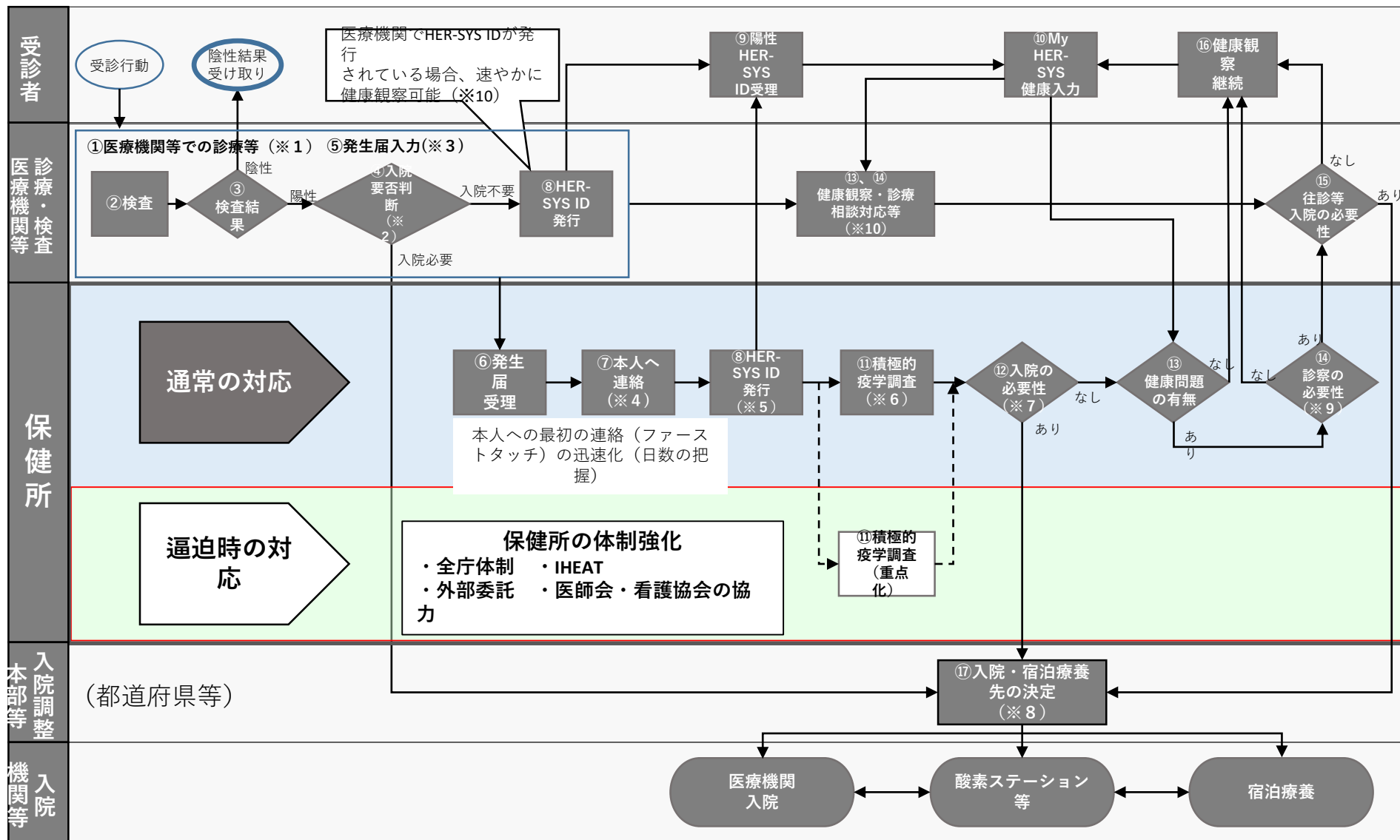
- 新型コロナウイルス感染症について、今夏の感染拡大により明らかになった課題を踏まえ、今後も感染拡大が中長期的に反復する可能性を前提に、保健・医療提供体制の強化を図り、業務を円滑に行えるようにしておく必要がある。
- このため、都道府県及び保健所設置市・特別区が、「保健・医療提供体制確保計画」を策定する際の参考として、(1)保健所体制の整備、(2)保健所業務について、過去の事例を踏まえつつ取り組んでいただきたい内容を提示した。

◆感染拡大による業務逼迫時に必要となる保健所の人員等の把握や、必要な体制の強化方策を定めておくとともに、地域における一定の感染状況を踏まえて、適切な時期に想定され得る体制整備が可能となるよう、先を見据えた対応・仕組みづくりが必要。

◆上記を踏まえ、今後の取組として、(ア)体制強化の計画の策定、(イ)業務フローと体制強化の指標、(ウ)人員、設備、システム等の増強、業務の効率化を示すとともに、業務フローのプロセスごとに、「これまでの課題」「今後の取組」「過去の事例」を提示。

体制強化開始の 目安	・人口10万人あたりの1週間の新規陽性者数が15人を上回る場合、その時点において、保健所体制の強化を開始する。
体制強化が図られていること の目安	<ul style="list-style-type: none"> ・陽性者への連絡の遅延(遅くとも陽性判明の翌日までに連絡できない場合)が生じないこと ・積極的疫学調査の遅延(遅くとも発生届受理から翌々日までに積極的疫学調査ができない場合)が生じないこと

医療機関受診後の基本的業務フロー図例



注釈一覧

- ※ 1 **My HER-SYSの資料等を提供。陽性の際は、HER-SYS ID発行等のショートメールが届く旨説明。**
- ※ 2 医療機関による「入院要否判断」から直接、入院調整に至るフローあり。
- ※ 3 **陽性判明後、速やかにHER-SYSで発生届を提出。医療機関でHER-SYS ID発行等のショートメールを発信。**
(入院の要否が判断できる場合は入力する。ワクチン接種や妊娠の有無等についても入力する。)
- ※ 4 **本人への最初の連絡（ファーストタッチ）の迅速化を推奨（ファーストタッチが遅れる場合、HER-SYS IDの発行を優先。）。**
陽性の結果とともに、入院の必要の有無、入院が必要ない場合、宿泊療養の必要性等、必要事項について聞き取りを行い、IDがショートメールで届くことを説明。
- ※ 5 **ショートメールで、HER-SYS ID等を送信（ショートメールで文章等の記載可能。）。**
健康観察を開始する（医療機関等でHER-SYS IDが発行されている場合は省略。）。
- ※ 6 陽性者の入院の可否や、陽性者数の増加等の状況によっては、**ファーストタッチと健康観察を優先し、**その後疫学調査を行う。
- ※ 7 陽性者の状況に応じて（都道府県の基準や陽性者数の状況に沿い）、入院や宿泊療養を決定する。
- ※ 8 都道府県や保健所等で入院先を決定する。
- ※ 9 My HER-SYSや自動架電等を活用し、症状増悪時には直接架電等で確認を行い、必要時は診察等につなぐ。
- ※ 10 医療機関等での検査結果の判明後、保健所による本人への連絡の前から、HER-SYSを活用する等により、**医師会や地域の医療機関による健康観察が行われている事例あり。**